

はまなす句会（九月二十日）（百二十六回）

爽やかに清流に目をあそばせて

圭二

爽やかに孫の登校送りけり

菊枝

熟睡してより爽やかに目覚めけり

由美子

爽やかな心はぐくお空の青

久子

爽やかに湯の町モーツアルト祭

玲子

爽やかに風きるごとくボート航く

則子